

上達と健康 奉射で願う 弓道協会と八学大

八戸

八戸弓道協会と八戸学院大
学弓道部は13日、八戸市の櫛
引八幡宮で奉納射会を開い
た。弓道技術の向上と新型コ
ロナウイルスに負けない心身
の鍛錬、健康を願い、15人の
射手が奉射を行った。

奉納射会はその一環で初めて
開催した。

射会に先立ち、同八幡宮の
弓道場で祈禱（いのち）を行い、同協会
の川口文人会長、同大を運営
する学校法人光星学院の法官
新一理事長が玉串を奉納。川
口会長の矢渡しに続き、同協
会の9人と同大弓道部員6人
が、厳かな雰囲気の中、3人
一組で行射した。

川口会長は「連携協定を契
機に、今まで以上に地域貢献
や競技者の底辺拡大に取り組
みたい」と述べた。同大弓道
部の千浦歩純主将（2年）は

集中力を高め、的に狙いを
定める八戸学院大弓道部員

「コロナで通常通りの大会が
行われない中、協会の皆さん
を目標に練習や射会ができて
良かった」と笑顔で語った。

（千葉真由美）

